



[特集]〈安・楽・簡〉夏休み学習法

ウェブサイトを活用！ ニュース英語学習法

小林敏彦 Kobayashi Toshihiko

日本ではインターネットがかなり普及しています。特に携帯電話は、必需品というより手の先に新たに進化してできた身体の一部であると言えるかもしれません。電話での会話だけでなく、メール交換、サイト閲覧（WWW）、掲示板（BBS）への書き込み、チャットでの意見交換など、10年前にはなかったハイテクが生活の中に浸透しています。しかし、これらが英語習得上強力な学習ツールにもなることを認識している人がどのくらいいるのでしょうか。

実用英語と言えば、英会話を連想しがちですが、サイトの閲覧の機会が増えると同時に電子メールの普及で、リーディングとライティングの重要性が見直されてきました。ネットで必要な情報を素早く選抜し収集し、受け取った英文のメールには即答する力が求められています。いまやリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングのいずれも疎かにできない、4技能のバランスの取れた習得こそが実用英語の本質であると言えます。本稿では、お金をかけずにいつでも自宅で行える米国国営ラジオ放送のVOA（Voice of America）のサイトを活用し、中でもリスニングに焦点を当てた学習法を紹介します。VOAは、24時間米国の首都ワシントンから世界の隅々（一部の地域では受信が制限されている）に発信されている米国の国営放送です。“Editorial”というコーナーで米国政府の方針が伝えられる他は、政治的な偏向は思われているほどなく、大統領に対する批判なども惜しみなく伝えられています。VOAにはCNN、BBC、ABC、NBCニュー

スと変わらない、ナチュラルなRegular Englishの放送だけでなく、英語を母語としない世界中のリスナーの便宜を図り、1,500語の語彙リストに基づいたニューススクリプト（ニュース原稿）が通常の3割程速度を落として朗読されるSpecial Englishがあります。それぞれ別個のサイトがあり、レギュラーの方ではニュース原稿と音声データが、スペシャル・イングリッシュでは音声データだけが入手できます。実用英語検定（STEP）2級以上の実力者はレギュラー英語を、それ未満の人はスペシャル英語を試してみてください。ただし、これはあくまでもおおまかな基準ですからまずは双方にアクセスを。

DATA COLLECTION（データ収集）

VOAのレギュラーのサイト（www.voanews.com/index.cfm）かスペシャル・イングリッシュ（www.voanews.com/specialenglish/）のいずれかにアクセスしてください。i-mode対応になっていないのでパソコンからサイトに入ってください。レギュラーの方には複数のニュースのヘッドラインがずらりと中央に並んでいます。例えば、2004年5月30日夕刻には10のニュースが出ていましたが、そのうち5つにラップマークがついており、音声ファイルがダウンロードできるニュースを表しています。“American Muslim Group to Help US Police in War on Terrorism”をクリックするとスクリプトが現れ、画面上部に青くなった部分が2つあります。上の方をクリックするとすぐ音声流れます。朗読の時間は3分35秒。こ

ここではやや多いぐらいの分量です。だいたい1分から3分ぐらいの長さの音声データがほとんどです。パソコンにフリーソフト（無料で入手できるソフト）のリアルオーディオが入っていない場合は、ダウンロードしてください。ここで注意しておかなければならないのは、スクリプトと実際の音声にギャップがあるということです。語句の取り違いだけでなく、1段落まるごと朗読されていないことがあります。これは、公開されているニュースのスクリプトは音声を書き留めたものではなく、スクリプトが原稿であり、これを適宜朗読しているためです。（インタビューは別。）

ここではまずリスニングを行い、あとでスクリプトを見て確認する手順をふむので、スクリプトは見ないようにしてください。また、できればスクリプトをプリントアウトして、控えておいてください。スペシャルの方は残念ながら個々のニュースには音声がついていません。代わりに左の方にある“Listen Now”をクリックすると複数の最新ニュースがまとめて30分間流れます。これらにもスクリプトがないため、内容を確認できません。市販のものはいくつかスペシャル英語を扱ったものが出ています。（拙著：『VOA 英語ニュース・初挑戦』『英語ニュース・リスニング・トレーナー』いずれも CD つき、語研）

LISTENING FOR COMPREHENSION (内容把握)

リスニングは、内容把握 (listening for comprehension) と音声認識 (listening for perception) に大別されます。いきなり聞き取りながら穴埋めをしても意味がありません。まずは、5 W 1 H の把握のため、2, 3 度繰り返し聞いてください。1 度目は大まかな理解 (listening for gist), 2, 3 回と進むうちに詳細理解 (listening for details) へと進みます。市販の教材などではプロが用意した質問などがありますが、独習する場合には、自ら整理して図を描いたり、5 W 1 H の表を自ら作って聞きながら埋めていくなどの工夫が必要です。また以下のような質問のチェックリストをあらかじめ用意して聞くとよいでしょう。

- 1) What is this story mainly about?
- 2) Who is involved in the incident (accident / plan / project ...)?
- 3) Where did the incident (accident) happen?
- 4) When did it happen?
- 5) Why did it happen?
- 6) How did it happen?
- 7) What are the officials saying about it?

確認のためのスクリプトはまだ見ないでください。次のステップが無駄になります。時間の都合や理解度により個人差がありますが、なるべく時間の許す限り、半日でもねばり強く繰り返し聞いてください。途中で止めたり同じ部分を反復して聞いても構いません。また、音声をカセットテープに録音して、速度を遅くして聞くこともできます。

LISTENING FOR PERCEPTION (音声認識)

続いて、個々の音声を正確に聞き取る練習をします。以下、3つの方法を紹介します。

Focused Listening:

もっとも手軽にできる割にはあまり知られていない聞き取りの方法です。これは数字、形容詞、副詞、複数形の名詞などを条件をあらかじめ定めて、その条件に当てはまる語句だけを何度も聞いて書き取る方法です。まずは、数字から始めてみるとよいでしょう。数字の聞き取りは実際の英語使用の場でたいへん重要です。ひとつの条件の聞き取りをしたら、すぐにスクリプトで確認するのではなく、あと2, 3の条件で同じニュースを聞いてみてください。あらかじめ、1「数字」、2「形容詞」、3「副詞」、4「複数形の名詞」、5「冠詞」のようにだんだん難しくなるように以下のような表を作ってみてはいかがでしょうか。

FOCUSED LISTENING

- 1) 数字 _____
- 2) 形容詞 _____
- 3) 副詞 _____
- 4) 複数形の名詞 _____
- 5) 冠詞 _____

Fill in the Blanks:

もっともポピュラーな方法は、穴埋めや選択肢を作ることです。これには、プリントアウトしたスクリプトの特定の語句を一定の間隔を空けて塗りつぶしたり、パソコンのワープロに取り込んで、実際に空欄を作る方法などがあります。自分で作ると目に触れてしまうので、誰かに一定の間隔で語句を塗りつぶしてもらう手もあります。そういう人がいない場合には薄目で、またはメガネやコンタクトを外して、文字を認識せずに素早く塗りつぶしたり、数時間後または数日後の忘れた頃に行うようにしましょう。聞き取りの対象にする場合は、あくまでもここでは語彙力ではなく音声の認識のために行う作業であることを忘れないでください。実際に聞いて聞きづらい部分、また聞かなくても聞き取りが困難であると予想できる冠詞や名詞の語尾などに着目してみましよう。自分自身が苦手な音声や位置を承知している域に達している学習者は、それに焦点を合わせた語句を選んで下さい。スクリプト全体に空欄を作る必要はありません。特定の語句を聞き取るために何度も聞き直すことになるので、全体の3分の1か4分の1かの分量で十分だと思います。以下の例を見てください。

(1:An) American Muslim organization has launched (2:a campaign) to help law enforcement (3:officials) in the war against terrorism. American Muslim (4:leaders) say they want their (5:neighbors) to know that security is an issue affecting people of all (6:faiths.) There are an estimated four to seven million (7:Muslims) in the United States, and many assemble for prayer (8:Fridays) at mosques like this one in Los Angeles. (9:Leaders) of several American Muslim (10:groups) and law enforcement officials gathered at the Islamic Center of Southern California just before mid-day (11:prayers.) They came to announce an educational (12:campaign,) aimed at all U.S. mosques, undertaken amid new (13:concerns) over a possible attack against (14:Americans) by al-Qaida. Maher Hathout, (15:a spokesman) for the center, says (16:the step) is partly being taken to

correct (17:a) misconception.

ここでは、冠詞と名詞の単複の聞き分けをねらった選択です。基本的に1行に1箇所程度でほぼ等間隔になるようにしてください。

Dictation:

以上のように、スクリプトの一部を書き取るのではなく朗読されるすべての語句を聞き取り、書き留めるのがディクテーションです。これは塗りつぶしや穴埋めを作成する手間は省けますが、かなり労と時間を要します。全部書き取るには何度も繰り返し聞かなければなりません、時間の余裕がある休みの日にでもぜひ実行してください。時間的に余裕がなければ最初の10秒間というように制限された長さに集中して書き取るようにしてください。冠詞や名詞の語尾のsなど聞きづらい音も、繰り返し練習を重ねているうちに少しずつ聞こえてくるものです。また、自分自身の聞き取りの癖なども見つけられます。これはニュースに限らず、洋画や洋楽など、よりレベルの高い素材などにも言えます。特に、洋楽の聞き取りは究極のリスニングレベルです。ニュースのスクリプトに相当する歌詞をネットで入手したり、CDについている歌詞カード (lyrics) を活用してください。

まとめ

ここではVOAのサイトを例に独習法を紹介しましたが、CNNをはじめ音声データとスクリプトだけでなく、動画などの画像データを入手できるサイトもあります。また、衛星放送なども積極的に見るようにして、音声を聞いたりスクリプトを読んだ時に、目蓋に情景が浮かぶように日頃から映像に慣れておくことでより内容把握力が高まります。

また、小生のサイト「KOBA COLLECTION」には、英語学習に役立つリソースや他のサイトへのリンクが充実していますので、活用してください。(http://www.ne.jp/asahi/toshi/koba)

(小樽商科大学大学院(ビジネススクール)助教授)